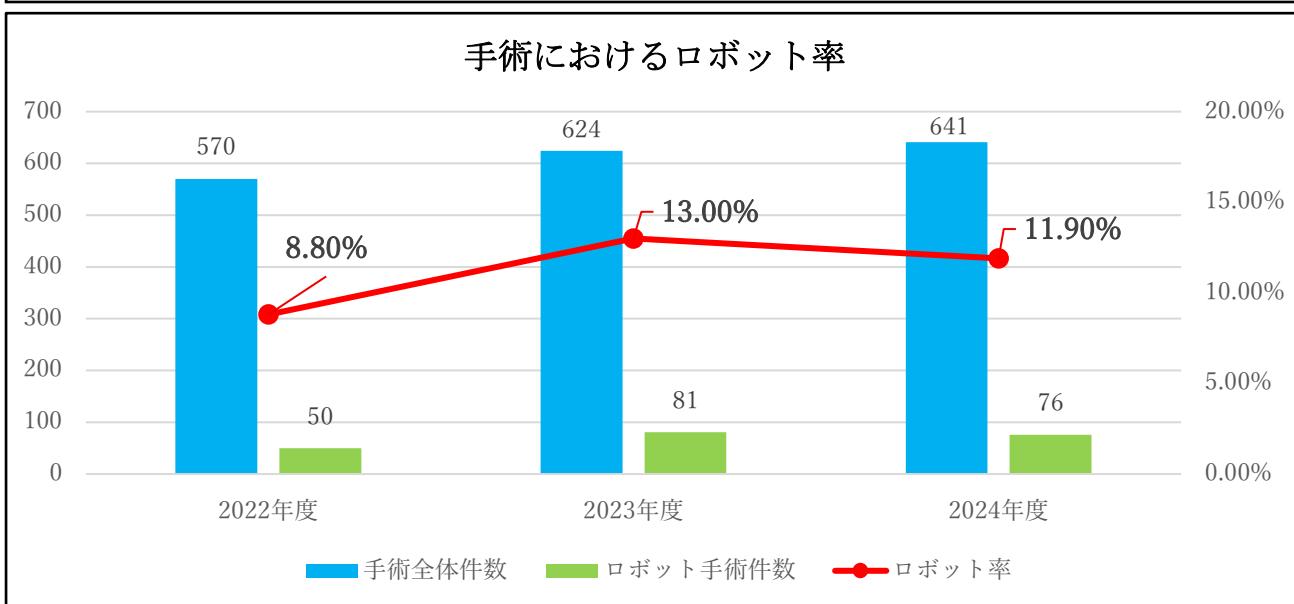
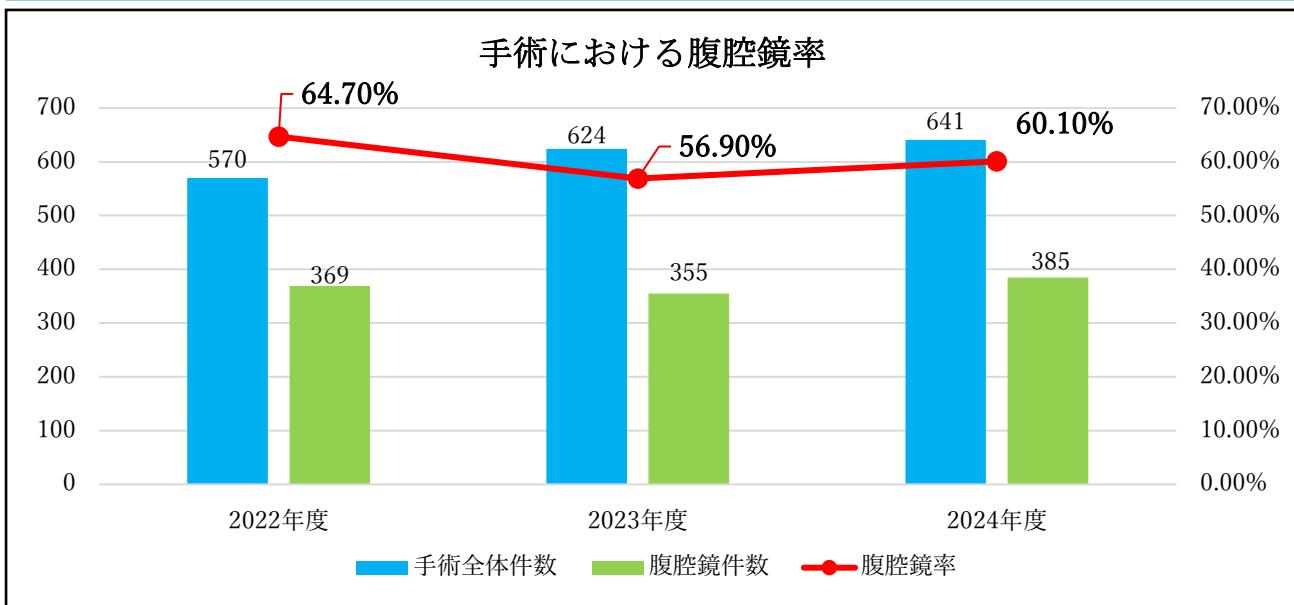


□手術における腹腔鏡率・ロボット率

手術における腹腔鏡率・ロボット率（消化器・一般外科）



➤ 指標の説明

当院の消化器・一般外科における腹腔鏡手術およびロボット手術の実施状況を示しています。腹腔鏡手術やロボット手術は、従来の開腹手術に比べて傷口を小さく抑えることができるため、患者さんにとって低侵襲で早期回復・早期退院が期待できるアプローチとなっております。また、当院ではロボット手術で「da Vinci Surgical System（通称：ダヴィンチ）」を採用しており、大学病院として先進医療の導入にも力を入れております。

➤ 定義

【腹腔鏡手術実施率】

分子：腹腔鏡手術実施件数

分母：手術全体件数（消化器・一般外科）

【ロボット手術実施率】

分子：ロボット手術実施件数

分母：手術全体件数（消化器・一般外科）

➤ 評価

当院消化器・一般外科における手術全体件数が、2022 年度の 570 件から 2024 年度の 641 件までおよそ 70 件増加しているのに対し、腹腔鏡手術は実施割合を維持しつつ、近年新規導入を進めているロボット手術の割合も 2022 年度に比べて件数を 25 件以上増加させております。また、対象部位として 2024 年からロボット支援下肝切除術やロボット支援下膵体尾部切除術なども加わっており、今後も先進的かつ低侵襲な医療の充実化が期待できます。